

JET プログラム新規参加者の出発

今年度、当地より 52 名が JET プログラム新規参加者として日本に出発致しました（外国語指導助手(ALT)48 名、国際交流員(CIR)4 名）。



当館は、6 月 21 日から 2 日間に渡り、当地 JET プログラム参加者同窓会(PNWJETAA)との共催により、JET 新規参加者に対する派遣前研修を実施しました。

研修では、ノースウェスト大学のスーザン・コバシガワ教授による外国語としての英語の教授法や目標言語を使用した授業についてのワークショップ、模擬授業、日本での生活に関する研修等を実施し、JET 新規参加者が、学校や職場における文化・慣習の違い、コミュニティとの積極的な関与、今後のキャリア形成を含め、JET としての経験を最大限有意義なものとするために必要な情報提供の機会としました。



また、7 月 26 日には、総領事公邸において、JET プログラム参加者出発前オリエンテーションを開催し、基調講演者のサム・シェパード氏（当地日米協会会長）より、JET 新規参加者へのアドバイスとして、異文化コミュニケーションのツールとして日本語を習得・活用することや、新たな経験に対して先入観を持たずに柔軟な態度を保つことの重要性が述べられました。

オリエンテーションに引き続いて開催した歓送レセプションには、JET 新規参加者の他、



当地日本関係団体、姉妹州・都市関連団体、PNWJETAA の出席を得て、JET 参加者に様々なアドバイスがなされました。百々総領事代理からは、ALT 又は CIR として、日本滞在中は米国の「大使」として、そして帰国後は日本の「大使」

として活躍することを期待する旨述べるとともに、JET プログラムは日本政府が教育現場における英語コミュニケーションの改善や地方自治体における国際協力の促進を目的に厳しい財政状況の中にも意義と効果を期待して継続するプログラムであることを改めて認識願いたく、各自の自覚と貢献に大いに期待している旨を述べました。

その後、JET 新規参加者全員による自己紹介、JET 新規参加者代表及び来賓による挨拶がなされました。

